



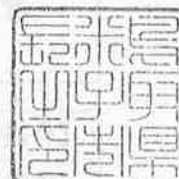
(別紙3)

教文起第656号-1

平成28年7月29日

(施設名) 米子市淀江文化センター  
(指定管理者) 一般財団法人 米子市文化財団  
(代表者名) 理事長 杉原 弘一郎 様

米子市長 野坂 康夫



### 平成27年度「米子市淀江文化センター」指定管理者業務評価書

施設名	米子市淀江文化センター
施設所管課	米子市教育委員会事務局文化課
指定管理者名	(一財) 米子市文化財団
指定期間	平成23年4月1日 ~ 平成28年3月31日 (5年目)

#### 【モニタリング終了後の総評】

##### 【施設所管課】

新米子市誕生10周年記念関連事業「篠山紀信トークショー」、鳥の劇場巡回公演「白雪姫」という話題性のあるイベントを円滑に実施したほか、淀江という立地をいかした企画や駐車場との距離が近く車で来館しやすいという特徴をいかした、幼児、家族連れ等を対象とする事業が行われ、他館との差別化が行われている点は評価できる。

##### 【第三者評価】

- ・花壇の整備に努めるなど、明るい清潔感に満ちた施設運営がなされている。
- ・12月に舞台天井のコンクリート片落下ということがあったようで遺憾に思う。きちんとした点検業務に努め、今後このようなことがないようにしてほしい。
- ・施設管理の充実として職員が草刈りや花のプランター設置などの環境整備を行うのは当然のことのように感じる。
- ・メインホールは文化ホールよりゆったりしていて、音響的にもいい感想を持っている。
- ・市中心部から離れている印象があるが、それを払拭するような「さなめ」らしい特徴作りがあると思う。
- ・少人数の職員で最大限の努力がなされている。
- ・特別な場合のみ、ボランティアの活用を検討していただきたい。
- ・利用者数も前年に比べて増加しており、利用促進業務が行き届いていることが伺える。
- ・適切に行われている。「さなめ」なりの設備上の管理項目があると思うので、不具合が

発生しないよう事前のチェック・管理を行ってほしい。

- ・地域との連携を積極的に推進し、自主的な事業の開催に努めている。
- ・淀江の地の利をいかした事業が行われていて評価できる。
- ・市民にいつでも施設を開放しようという思いが「にぎわい創出事業」から伺えてよい。
- ・他ホールに比べ、参加型事業の件数が少ないようなので、他ホールの事業を参考にし、取り込んでみてはどうか？
- ・淀江らしい古代文化に関する事業も拡大してみてはどうか？

#### 【今後の業務改善方策等の特記事項】

##### 【施設所管課】

今後も適切な施設管理に努めるとともに、地域の特色をいかした企画や立地条件をいかした子供向け、家族向けのイベントなどに取組み、他館との差別化をいっそう明確にすることで施設の存在感を高めていくこと。

##### 【第三者評価】

- ・ホールと市中心部との距離をどのような方法で縮めるかが今後とも大きな課題である。
- ・ますます淀江地区の発展に寄与する事業が増えることを期待する。
- ・学校が使用する際、対応がとても親切・丁寧で好評だが、ここ十数年、同じ時期に開催していた学校行事が他の県立校の団体申込により、日程を変更せざるを得なかったことがあり、米子市の施設として、市立学校の使用を優先できないか検討してほしい。
- ・評価項目の特記事項の内容について、3ホールとも同じ評価をしている項目が多すぎるが、各ホールの良い面・悪い面を表に出し、改善を図っていくことが必要だと思う。

## 平成27年度下期「米子市淀江文化センター」モニタリング評価表 [平成28年6月]

施設名	米子市淀江文化センター	
施設所管課	教育委員会事務局文化課	
指定管理者名	団体名	(一財)米子市文化財団
	所在地	米子市淀江町西原708-4
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	
選定方法	公募・非公募	
施設の設置目的	米子市淀江文化センターは旧淀江町が「伯耆芸術文化の里創造事業の一環として建設し、文化活動の普及及び振興を図ることを目的としている。	
主な実施事業	鑑賞事業(優れた舞台芸術の鑑賞機会の提供) 年間3回程度 参加型事業(多数の市民が参加できる芸術文化の発表の機会提供) 年間3回程度 教育普及事業(芸術文化に関する普及活動、情報提供) 年間3回程度	

評価項目	評価基準	評価	特記事項
<b>I 履行の確認(60点)</b>			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がされているか 安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	A	資料確認・現地確認 選任館長、企画員兼事務員を配備し管理体制を向上している。
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	資料確認 適宜研修が実施されている。
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	A	資料確認・現地確認 ポスター、チラシの配布、報道機関への情報提供、facebookを活用した広報等、適宜行われている。
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか <b>補足資料※1</b>	B	資料確認 ほぼ例年並みの水準である。
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	資料確認・現地確認 自主事業についてはアンケート用紙が配布され、要望等の実現策を検討していた。
3 保守点検並びに清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	A	資料確認 周辺環境美化に努め、季節感のある花をポーチに配置し、良好な外観となっている。
(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	資料確認 適切に行われている。
(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか	B	資料確認・聞き取り確認

	第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か		適切に行われている。
4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	A	資料確認・聞き取り確認・現地確認 事業計画書より多くの事業が行われたため。
5 情報公開・個人情報に係る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行われたか	B	資料確認 適切に行われている
6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方についての提案は具体化されているか	A	資料確認・現地確認 淀江という立地をいかし地元を主とした企画・取組みが行われているほか、幼児等を対象とした事業が行われ、他館との差別化が行われているため。

## II サービスの質の評価（25点）

1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であるか	B	資料確認 自主事業の際は、アンケートを配布集計され月例などで報告がされ、利用者の回答内容は概ね良好であった。
2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行われているか	B	資料確認 適正に行われている。
3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創意工夫が見られるか。 利用許可などの利用者への接客・対応は適切であるか	B	現地確認・聞き取り確認 利用者に対する対応について適切に行われている。
4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設定目的に沿い、サービス水準の向上に寄与する質の高いものであるか	A	資料確認・現地確認 新米子市誕生10周年記念関連事業「篠山紀信トークショー」、鳥の劇場巡回公演「白雪姫」という話題性のあるイベントを実施したほか、立地条件をいかした子供向けの事業も展開されたため。
5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資することができる管理運営内容であったか	B	資料確認 ホールだけでなく、イベントホール、ロビー等で地元の文化的資源、人材等を活用した多様な事業を行い、施設の利活用に努め、市民の利用促進を図っているため。

## III サービスの安定性の評価（15点）

1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか <b>補足資料※2</b>	B	資料確認 妥当である
2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であるか <b>補足資料※3</b>	B	資料確認 妥当である
3 団体等の経営状況（年度ごと）	団体の経営状況分析指標の結果は妥当であるか <b>補足資料※4</b>	B	資料確認 妥当である

<p>【総評（所管課評価）】</p> <p>新米子市誕生10周年記念関連事業「篠山紀信トークショー」、鳥の劇場巡回公演「白雪姫」という話題性のあるイベントを円滑に実施したほか、淀江という立地をいかした企画や駐車場との距離が近く車で来館しやすいという特徴をいかした、幼児、家族連れ等を対象とする事業が行われ、他館との差別化が行われている点は評価できる。</p>	<p>合計点 (72) 点 / (100) 点 × 100 = (72) 平均点 (3.6) 点</p>
---	--

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

※評価区分 A（優 良）＝協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。（5点）

B（良 好）＝協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。（3点）

C（課題含）＝協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。（1点）

D（要改善）＝協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。（0点）

※特記事項欄は評価を行った確認方法（例：立入調査、台帳確認、資料等確認）と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項 目	本年度〔平成27年4～9（4～3）月〕 A	前年度〔平成26年4～9（4～3）月〕 B	対 比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
開館日数	308	308	0	100%	
施設利用者数	47,431	42,170	5,261	112.5%	
施設稼働率	100%	100%	0	100%	
事業開催数	16	16	0	100%	

※2 事業収支

(1) 収 入

項 目	本年度〔平成27年4～9（4～3）月〕 A	前年度〔平成26年4～9（4～3）月〕 B	対 比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
利用料収入	6,785,898	6,899,248	△113,350	98.4%	
指定管理料	36,213,000	36,186,000	27,000	100.1%	
事業収入	370,600	431,700	△61,100	85.8%	
補助金及び助成金	0	0	0	-	
その他	167,254	218,564	△51,310	76.5%	自販機電気代の減
合 計	43,536,752	43,735,512	△198,760	99.5%	

(2) 支 出

項 目	本年度〔平成27年4～9（4～3）月〕 A	前年度〔平成26年4～9（4～3）月〕 B	対 比 A-B、A/B		対比が±20%を超える場合は増減理由を記載
人件費	17,430,817	16,763,277	667,540	104.0%	
委託料	15,243,889	15,326,259	△82,370	99.5%	
施設費	10,842,435	11,586,328	△743,893	93.6%	
事業費	694,715	784,424	△89,709	88.6%	
合計	44,211,856	44,460,288	△248,432	99.4%	

※3 経営状況分析指標

項目	本年度〔平成27年4～9（4～3）月〕 A	前年度〔平成26年4～9（4～3）月〕 B	対比 A-B、A/B		備考
①事業収支	△675,104	△724,776	49,672	93.1%	
②利用料金比率	15.59%	15.77%	△0.18%	98.9%	
③人件費比率	39.43%	37.70%	1.73%	104.6%	
④外部委託費比率	34.48%	34.47%	0.01%	100.0%	
⑤利用者当たり管理コスト	932	1,054	△122	88.4%	
⑥利用者当たり自治体負担コスト	763	858	△95	88.9%	

①事業収支：(収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

②利用料金比率：(利用料金収入/収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③人件費比率：(人件費/支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、逆に費用がかかりすぎていないかを確認する。

④外部委託比率：(外部委託費合計/支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤利用者当たり管理コスト：(支出/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥利用者当たり自治体負担コスト：(指定管理料/延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

※4 団体等の経営状況（年度毎下期に実施し、上期では行いません。）

項目	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	備考
①自己資本比率	61.8	63.1	54.9	44.1	57.7	
②流動比率	273.9	288.1	230.7	182.1	304.5	
③固定長期適合率	10.1	11.5	14.2	15.5	15.3	
④総資産経常利益率	1.3	-1.5	-6.4	-1.8	-6.5	
評価	(以上の指標を参考に評価する。)					

①自己資本比率

総資産（資産合計）に占める自己資本（純資産合計）の割合を示した指標。どれだけ借金に頼らず経営をしているかを示す。比率が高いほど借金（負債合計）に頼る割合が低く、経営が安定していることを示す。一般的には、70%以上なら理想企業、40%以上なら倒産しにくいとされている。

$$\text{自己資本比率（％）} = \text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 800 \div 2,000 \times 100 = 40.0\%$$

$$\text{【公益法人会計の場合：正味財産計} \div \text{資産計} \times 100 \text{】}$$

②流動比率

団体の短期的な支払い能力を示す指標。1年以内に現金化できる試算を「流動資産」、1年以内に支払いを要する負債を「流動負債」と言い、「すぐに準備できるお金」と「すぐに返さないといけないお金」のバランスを比較する。流動資産（すぐに準備できるお金）の方が多いほど、支払い能力が高いことを示す。100%以上であれば問題ない。100%未満であれば資金繰りが苦しいとされる。

$$\text{流動比率（％）} = \text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100 \quad \text{【例】 } 1,100 \div 700 \times 100 = 157.1\%$$

### ③固定長期適合率

固定資産をどの程度、自己資本（純資産合計）と固定負債で賄っているかを示す指標。土地や建物など、この先1年以上換金できない、または換金しない固定資産を返済義務のない自前の資金である自己資本（純資産合計）と長期で調達したお金（固定負債）でどれだけ賄えるかを見る。100%未満であれば問題ないが、100%以上の場合は固定資産の維持調達について流動負債にも依存していることを示すことから、資金繰りが苦しいと考えられるとされる。

$$\text{固定長期適合率 (\%)} = \text{固定資産} \div (\text{固定負債} + \text{自己資本}) \times 100 \quad \text{【例】 } 900 \div (500 + 800) \times 100 = 69.2\%$$

【公益法人会計の場合：固定資産 ÷ (固定負債 + 正味財産計) × 100】

### ④総資本経常利益率

団体の総合的な収益力を示す指標。団体の総資産（資産合計）に対して、どれだけの経常利益を稼ぎ出しているかを示す。比率が高いほど資本を効率的に運用し、収益を上げている。

$$\text{総資本経常利益率} = \text{経常利益} \div \text{総資産} \times 100 \quad \text{【例】 } 200 \div 2,000 \times 100 = 10.0\%$$

【公益法人会計の場合：正味財産増減額 ÷ 総資本 × 100】

#### ■貸借対照表（例）

【資産の部】	【負債の部】
流動資産	流動負債
現金及び預金 400	買掛金 400
受取手形 500	短期借入金 300
有価証券 200	流動負債合計 700
流動資産合計 1,100	固定負債
固定資産	社債 300
建物及び構築物 200	退職給付引当金 200
土地 500	固定負債合計 500
投資有価証券 200	負債合計 1,200
固定資産合計 900	【純資産の部】
	資本金 600
	利益剰余金 200
	純資産合計 800
資産合計 2,000	負債純資産合計 2,000

#### ■損益計算書（例）

売上高	3,000
売上原価	1,200
売上総利益	1,800
販売費及び一般管理費	1,200
広告	700
人件費	500
営業利益	600
営業外収益	200
受取利息	200
その他	0
営業外費用	600
支払利息	200
社債利息	0
経常利益	200
特別利益	100
外国為替	100
特別損失	50
固定資産売却損	50
税引前当期純利益	250
法人税・住民税等	50
当期純利益	200

### 5 利用者からの苦情の内容とそれに対する市・指定管理者の対応や市から指定管理者への指導状況

なし

### 6 利用者アンケートの結果

催しの内容、施設の清潔さ、接客、館内表示等の項目について調査を行い概ね良好な回答であった。  
幼児を対象としたイベントが多いため、チャイルドルームの設置を望む意見があった。